

学力のプロテイン

～宝泉中 学習通信～NO. 8

令和4年1月27日

今年度も残り約2ヶ月となりました。4月の自分よりも力が伸びていますか？

さて、今回の「学力のプロテイン」ではすべての学習の基礎となる「読解力」について書いていきたいと思います。学生の時だけでなく、社会人になっても大切な力、それが「読解力」。勉強の基本は教科書や書籍です。正しく読めれば理解も深まる！ぜひ今回の学習通信を、読解力を高めるためのヒントにしてください。

読解力を高めて、学習効率を上げよう！！

1. 読解力とは？

まず、「読解力」とはなんでしょうか？ここでは、「文章を読み取って、理解する力」とします。つまり、①文章を正しく読み取る力、②文章を理解する力の2つの力をまとめて「読解力」ということです。読解力に関する問題の例をあげますので、考えてみてください。

【問題】以下の文章を読んで問題に答えなさい。

Alexは男性にも女性にも使われる名前で、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある。

この文脈において、以下の文中にあてはまる最も適当なものを選択肢から1つ選びなさい。

Alexandraの愛称は（ ）である。

①Alex ②Alexander ③男性 ④女性

この問題、全国の中学生（235名）の正当率は38%だったそうです。答えは①のAlexです。この問題に正しく答えるには、①の力は勿論、②の「理解する力」も大切です。理解するためには語彙力も大事になります。皆さんは「愛称」という言葉の意味を知っていましたか？この問題は「愛称」という言葉の意味が分からず、読み飛ばしたことで誤答になる人が多かったようです。

2. 読解力を高めるための具体例 入門編3選（まずはここから始めよう）

1. 1日30分の読書習慣を身につける。

まずは、文章を読む量を増やすことが大切です。小説や教養本など色々な文章に触れてください。本ではないですが、新聞記事でもよいと思います。新聞をすべて読むと文庫本2～3冊分の文字になるので、気になる見出しの記事のリード文を読むだけでも、効果はあります。新聞を読むと世の中の流れが分かるという利点もありますね。

ただし、読書の時間が多すぎて、勉強時間がなくなってしまうのは困ります。30分くらいがちょうど良い時間だと思います。

2. 音読をする。（書いてある通りに読む。）

文章を「正しく」読んでいるかのチェックをするために音読します。どの教科でも教科書を読むときに効果的です。「てにをは」など書いてある通りに正しく読むことが読解力には大切なことなのです。

また音読することで、耳からも学習することができるという利点もあります。

3. 意味の分からない言葉は必ず辞書で調べる。

語彙力の高めることは、②の力を高めるためには、必要不可欠です。意味の分からない言葉は放置せずに、その都度調べる癖をつけましょう。